

和歌山市民図書館

新図書館基本構想

和歌山市教育委員会

1 図書館の現状

■これまでの取り組み

和歌山中央卸売市場の移転跡地に市民会館、市民図書館、市立博物館が建設され、市民の文化ゾーンが形成された。

現在の和歌山市民図書館は、昭和 56 年に開設された。

開設に先立ち策定された「和歌山市図書館サービス網計画」では、図書館サービスを組み立てる 4 つの柱として次の点があげられている。

- ① 図書館は、和歌山市の頭脳となる。
- ② 図書館は、和歌山市の情報ネットワークの中心となる。
- ③ 図書館は、市民のレクリエーションとしての読書と生涯学習の場となる。
- ④ 図書館は、市民の文化活動の拠りどころとなる。

また、和歌山市がすべきこととして、次の点があげられている。

① 図書館網の整備

一つの図書館の利用者は、そのほとんどがその図書館から 1.5 km 以内の人に限られるため、大きな図書館を作っても、その近くの人のほかは、ほとんどサービスを受けることができない。いつでも、誰でも、どこに住んでいても、等しく図書館を利用できるためには、図書館を市民の身近に数多く作らなければならない。

② 図書館を市民の日常生活の必需品に

多くの市民は、読書の習慣が十分ではなく、図書館利用の経験をもっていない。市民生活に読書を根づかせ、図書館利用を進めていくためには、まず子どもの読書に重点をおき、子どもの時に読書の習慣、すなわち、図書館利用の習慣を身につけるように図書館は努力しなければならない。

また、高齢者も図書館の大切な利用者である。図書館に来て好きな本を読み、そこで若い人と触れ合うことができる。

③ 和歌山市としての特色をもった図書館に

図書館の生命は資料であるから、特色ある資料構成によって、市のカラーを出す。例えば、和歌山市出身作家の著書、研究書などで記念文庫を設ける。また、視聴覚資料・機械などを整備し、市民の利用を促すなどである。

本市では、この計画に基づき、開設当初から移動図書館車が巡回し、どこに住んでいても図書館を利用できる環境整備に努めている。

また、平成3年以降、順次、コミュニティセンター図書室を開室した。(現在5室)

市民図書館を中心に、地域の生涯学習の拠点であるコミュニティセンター図書室とのネットワークを拡充し、市内全域の図書館サービスを目指してきた。平成29年度には市内土入に建設される西保健センターに分館を併設する予定である。

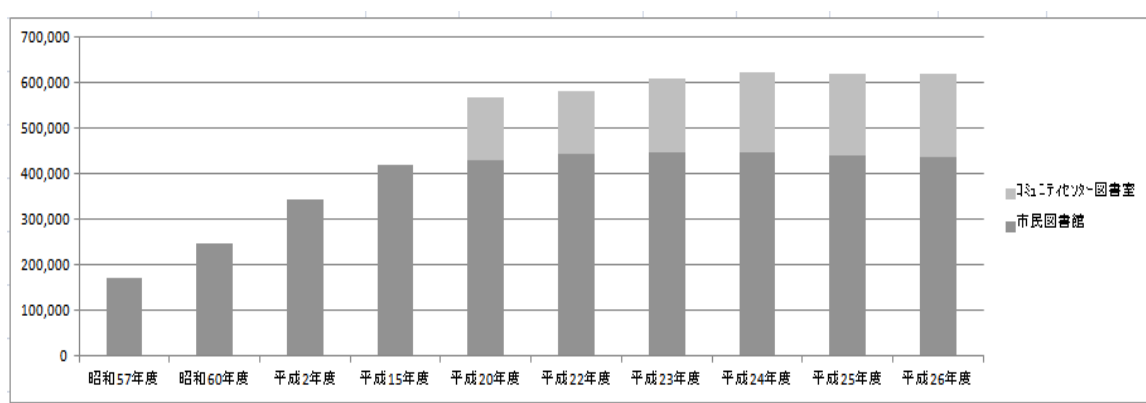
子どもの読書活動の推進に向けては、「和歌山市子ども読書活動推進計画」の策定や教育委員会が推奨してきた「うちどく」の取組み、さらには、「おはなし会」や「語りの会」の実施など幼少時から読書に親しむ習慣が身につくよう取組んでいる。

特色ある資料収集では、和歌山市出身の作家である有吉佐和子さんの著書、研究書を集めた有吉佐和子文庫や海外移住者の記録や資料を一堂に集めた移民資料室を設置するなど、郷土の愛着心の醸成に繋がるよう取組んでいる。

このような取組みの中で、蔵書数は徐々に増え、コミュニティセンター図書室を合わせると平成26年度末で619,160点となっている。

(所蔵資料数)

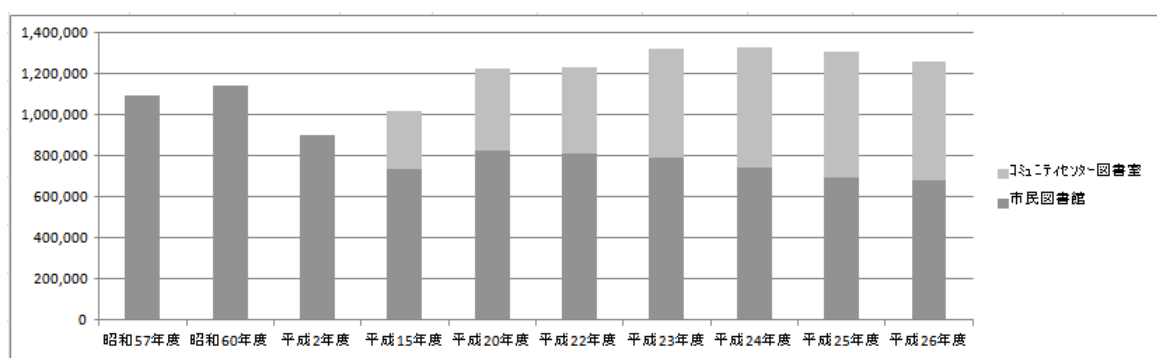
	昭和57年度	昭和60年度	平成2年度	平成15年度	平成20年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市民図書館	172,148	247,656	344,440	420,169	429,674	442,257	445,576	446,290	440,030	435,967
コセン図書室					136,534	140,576	163,185	175,291	177,930	183,193
計	172,148	247,656	344,440	420,169	566,208	582,833	608,761	621,581	617,960	619,160



貸出冊数は、平成 26 年度末で 1,260,925 点となっている。市民図書館は減少し、コミュニティセンター図書室は増加する傾向である。

(貸出冊数)

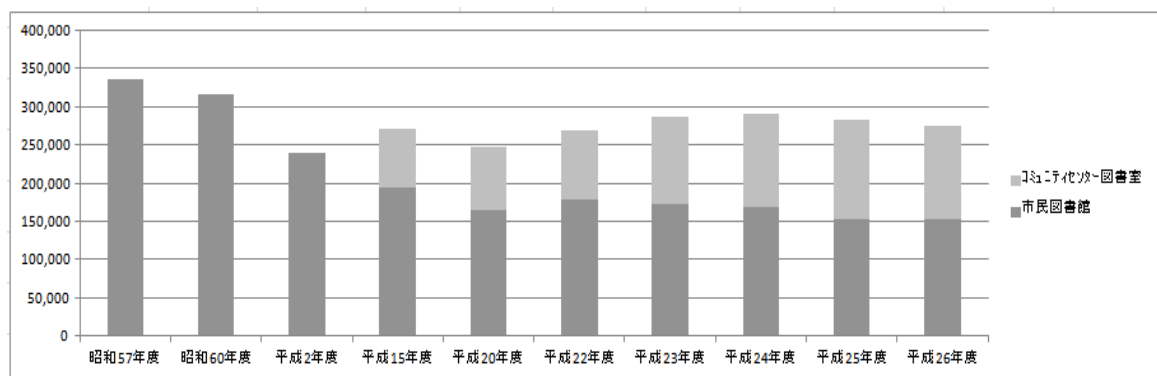
	昭和 57年度	昭和 60年度	平成 2年度	平成 15年度	平成 20年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
市民 図書館	1,097,239	1,144,472	897,649	738,622	824,338	813,837	790,577	741,753	691,775	682,654
コソ 図書 室				276,148	400,774	416,058	533,328	589,616	617,719	578,271
計	1,097,239	1,144,472	897,649	1,014,770	1,225,112	1,229,895	1,323,905	1,331,369	1,309,494	1,260,925



貸出人数は、平成 26 年度末で 275,285 人となっている。市民図書館は減少し、コミュニティセンター図書室は増加する傾向である。

(貸出人数)

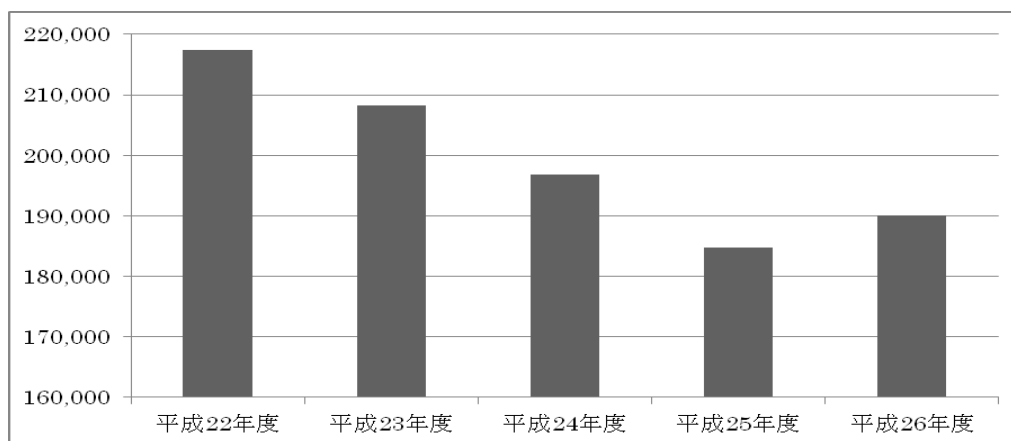
	昭和 57年度	昭和 60年度	平成 2年度	平成 15年度	平成 20年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
市民 図書館	335,555	317,362	239,543	195,266	164,716	179,081	172,793	168,043	153,795	153,027
コソ 図書 室				75,264	82,023	89,442	115,114	123,410	129,084	122,258
計	335,555	317,362	239,543	270,530	246,739	268,523	287,907	291,453	282,879	275,285



和歌山市民図書館の来館者数は減少傾向であったが、平成 26 年度は行事活動や展示活動を多数開催したこともあり、上昇に転じた。

市民図書館 来館者数の推移

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
217,360	208,210	196,789	184,699	190,128



■図書館を取り巻く現状

和歌山市の人口は昭和54年12月の400,820人を最高に、平成27年3月には363,490人である。また、高齢化率は10年前の平成17年3月は21.1%であったが、平成27年3月には28.2%となり、年々高齢化が進行している。

一方、世帯数は年々増加している。平成27年3月には156,069世帯に達し、10年前の平成17年3月は1世帯あたり2.6人だったが、現在は1世帯あたり2.3人と減少しており、核家族化が進行している。

さらに、和歌山市の出生率は平成24年で1.47となり、全国の出生率1.41を少し上回っているものの、人口を維持するのに必要な2.08と比較すると、依然低い水準である。

まちなかでは中心市街地の活性化に取り組んでいるが、空き店舗が増加し、賑わいがなくなり、居住者数も減少している。高齢化率も和歌山市全体と比較すると、より進行している。まちなかエリア（本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、宮北地区）における居住人口比率については、昭和55年には13%であったが、平成26年には9%まで下がっている。

こういった状況の中、市民図書館の最寄り駅である南海和歌山市駅に目を向けてみると、南海本線の年間輸送客数や乗降客数は昭和60年度の約2分の1まで減少している。また、南海和歌山ビルで営業していた高島屋が平成26年8月に撤退している。

以上のように、図書館を取り巻く環境が大きく変化し、市民が図書館に求めるものも子育て

て不安の解消や団塊世代の若い頃の夢の実現、さらには、資格取得等、多種多様化しており、このニーズに応えるためには新たな図書館のあり方について、検討が必要となっている。

また、市民図書館は建設以後 30 年以上が経過し、耐震改修が必要と診断され、施設整備の面においても更新が必要となっている。

■近年における全国的な図書館の傾向

現在の社会では、ライフスタイルが多様化し、技術の革新も急速であるため、常に新しい知識が生まれ、社会と個人は様々な解決すべき課題に直面し、課題解決のための知識と情報が膨大化している。

近年における全国的な傾向として、図書館は、地域の子育てを支援する場、まちの活性化に貢献する場、文化活動の交流拠点となり、くつろぎの場としての役割を担うことが求められている。

そのため、最近の公共図書館では、従来の貸出中心という流れを引き継ぎつつ、課題を抱える市民にとって有力な情報を提供し、生涯学習活動の重要な拠点を担っている。具体的には、求める情報を獲得するだけでなく、時間をかけてじっくり研究・調査・発表ができる図書館が求められている。

また、子どもの読書環境を大切にし、一人でも多くの子どもたちに図書館を利用してもらい、本との出会いや読書の魅力に触れる機会を与えることに重点をおく図書館もある。

子どもに読書習慣を身につけさせるだけでなく、子育て世代が交流できる場として、おはなし会や読書会を企画し、情報交換の場を提供する図書館が見られる。

労働、産業、福祉といった生活に密着した機関と連携ができるよう複合施設に位置する公共図書館も増えている。

また、駅前などに立地して商業施設と接続し、街の賑わいを創出する役割を果たしている例も見られる。

静寂な環境を維持しながら、カフェコーナーやラウンジ・交流スペース等を設置し、会話が弾み、議論・交流の場としての機能も持ち合わせ、ゆったりとしたくつろぎを味わえる空間を提供する滞在型の施設が増えている。

■現在の図書館の課題

全国的な図書館の傾向と図書館を取り巻く現状を踏まえ、課題を整理すると次のとおりとなる。

① 施設の整備

建設以後 30 年以上が経過し、耐震改修が必要と診断され、さらには施設設備の更新が必要となっている。

耐震改修工事を実施すると、9 カ月程度の休館が必要となることや、図書館内にはブレース等が設置され、利用者の動線を損ない、収蔵能力が低下し、図書館の使用スペースが狭くなることから、市民サービスの低下につながる。

② 十分なスペースの確保

図書館の収蔵能力が限界を超え蔵書の増加が望めない。

新たな書架を設置するスペースがない。

市民が利用する閲覧席が少なく、児童室が狭い。

情報交換ができる交流スペースがない。

自習席が少ない。

市民の余暇の過ごし方とライフスタイルに合った場の提供が十分でない。

③ アクセスの向上

現在、3 施設（市民会館、市民図書館、市立博物館）が駐車場を共有しており、いずれの施設の利用者も滞在時間が長く、行事が重なると駐車できないことがある。また、駐車場への入口は県道 15 号線（北大通り）から 1 箇所しかなく、車の利用者は不便を感じる時もある。

市民図書館は最寄り駅である南海和歌山市駅から約 500m 離れ、歩道の夜間照明が暗いという意見もあり、子どもの安全や高齢化社会に対応したアクセスが不十分である。

④ 市民の多様な学習ニーズへの対応

市民の多様な学習ニーズへ対応できるスタッフ及び図書館に精通した職員の確保が必要。

（IT、ビジネス、高齢化、福祉、多言語等）

高度で専門的なサービスの充実、施設・設備の充実、資料の収集が必要。

⑤ 新たな図書館利用者の発掘

新たな図書館利用者を発掘するため、図書館での楽しみ方や図書館の面白さを PR する必要がある。

2 新図書館移転建設に向けて

1 新図書館建設

和歌山市では平成 27 年度、都市再生整備計画を策定し、南海和歌山市駅周辺の再開発を行なう予定である。この計画の中で、南海和歌山市駅に和歌山市民図書館を移転することを検討してきた。

図書館が南海和歌山市駅に移転することで、施設の安全と快適さを確保すると同時に、蔵書の充実、児童サービスの拡充、中学生・高校生向けサービスの実施、子育て世代の支援や交流の促進、くつろぎを味わえる空間の提供など、現在実施できていないサービスや今後の市民のニーズに対応した図書館サービスを実現することができる。

また、南海和歌山市駅は公共交通機関である鉄道と市内各地へ伸びるバス路線の終点であり、移転により図書館へのアクセスが向上する。駅直結の利点をいかし、通勤・通学途上に利用する人の増加を見込め、関西空港も近いことから、県外・国外から和歌山市を訪れた人に地域観光情報を提供していくこともできる。

さらに、図書館は集客能力の高い施設であるため、駅周辺に設置されることで商業施設や公共施設相互に回遊する人の流れが生まれ、人の賑わいが創出されると期待される。このことは、まちなかにおける新たな人の動きとなり、中心市街地活性化に寄与する。

特に南海和歌山市駅周辺には、南方熊楠生誕の地や雑賀孫市ゆかりの地、勝海舟の寓居地や市堀川の水辺空間もあり、まち歩きを楽しむ要素が沢山あるため、南海和歌山市駅に図書館を移転することで、図書館利用者がまちを歩くことによる賑わいの創出が期待できる。

駅に直結した図書館は、市民のニーズを把握することや図書館の情報を提供しやすくなり、市民とともに育つ図書館を作りあげることが可能となる。

現在の図書館は生涯学習施設として利用すれば、さらに人の流れを生み、賑わいを創出することができる。

よって、和歌山市民図書館を南海和歌山市駅に移転するものである。

2 基本理念

利用者にとって、より利用しやすく役に立つ身近な図書館として、さらに成長していきけるよう、市民のニーズの変化に対応し、まちと共に成長する図書館を目指し、新和歌山市民図書館の基本理念を次のとおり定めます。

図書館がつなぐー『本と人』 『人と人』 『人とまち』ー

基本理念を達成するために、図書館は次の役割を担います。

知・情報・交流・くつろぎの拠点

3 基本目標

基本理念の実現に向けて、つぎのように基本目標を定めます。

- (1) すべての市民が、利用しやすい図書館をめざします
- (2) 情報拠点として、資料の充実をめざします
- (3) 市民の学びと、課題解決の支援をめざします
- (4) 郷土の歴史と文化の継承をめざします
- (5) 人と人とのつながりを育む図書館づくりをめざします
- (6) まちの拠点となる図書館をめざします

和歌山市民図書館整備スケジュール（予定）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
基本計画	←→			
基本設計		←→		
実施設計			←→	
建築工事			←→	←→